

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ四十万		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名 (内兄弟児4名)	(回答者数) 15名
○従業員評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自社の連絡帳アプリ「Bridge」での支援や様子の共有	日々の活動内容、様子やどのような声掛け等の支援で活動に参加することができたか等をその日のうちに保護者に共有している。	連絡帳アプリですぐに保護者に共有することができるため、利用日の活動の様子だけでなく、事業所で行う様々な活動やイベントの様子を契約児童の保護者全員に周知できる取り組みを行っていく。
2	地域交流の充実	外出活動は遊びが目的ではなく地域交流を目的として、地域の方と交流できる機会や伝統を学ぶ機会、職業体験ができる機会として提供し、より多くの児童がさまざまな人と交流したり、体験・経験したりできるよう企画している。	保護者の方への地域交流の必要性や取り組み内容の周知が上手くできていないため、自社アプリや新聞、HP等を活用し、より多くの方に知っていただけるよう発信していく。
3	保護者会の開催	年2回定期的に開催し、保護者の方のニーズに合わせた勉強会の実施を行っている。児童同士や保護者同士が交流を深めることができる会となるよう利用児童の参加やお父さんの参加も呼びかけている。	ご自宅の都合により参加が難しい方もいらっしゃるため、開催日の変更も検討。また、幅広い方にご参加いただけるよう内容や参加しなくなる案内方法を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースがやや狭い	事業所自体が広いとは言えないが、 unnecessaryなものは片付ける等、できる範囲で児童がのびのびと過ごすことができるよう環境設定を行っている。	時間設定やスペースの見える化を検討し、好きな遊びをのびのびとできるようにする。また、ルールを再度児童と確認するなどして、スペースの活用方法を決めていく。
2	マニュアルや訓練の周知が不十分である	マニュアルについては契約時に保護者にお伝えし、連絡帳アプリでも常時閲覧できるようになっているが、それが周知につながっていない。	訓練実施時にはブログを活用し様子を伝えているが、それ以外に、利用曜日に関わらず訓練の様子や避難場所の確認などを連絡帳アプリを活用し周知することを検討する。また、合わせてマニュアルの確認の呼びかけなども行っていくことができるかを検討する。
3	学校との連携	学校によって関係を築くまでに時間がかかる。送迎時にお会いできなかったり、時間を取ることが難しいなどの理由で密な連携が難しいことがある。	直接お会いする以外にも定期的な電話連絡等での連携を図っていく。学校公開日等に訪問し、少しずつお話しできる機会を作りながら関係を深めていくことができるようにする。